

◆ 新校長紹介 ◆

同志社女子中学校・高等学校校長

白戸 紀二六（しらとのりじろ）



一九四〇年朝鮮咸鏡北道生まれ。

一九五二年同志社香里中学校の第一期生として入学。同志社香里

高等学校、同志社大学

工学部電気学科を経て、一九六七年同志社大学大学院工学研究科修士課程修了。一九六三年より同志社女子中学校・高等学校数学科講師。一九六五年同校数学科教諭として入社、現在に至る。

その間、教務部副主任、宗教部主任等の各校務を歴任。一九九八年より教頭。一方、一九七〇年頃より中高のコンピュータ教育の創設や教育業務のコンピュータ化に関わる。また、一九九一年より一九九四年まで同志社大学文学部で心理学実験演習の講義を担当。日本基督教団伏見教会会員。担当科目は数学。

任期は二〇〇〇年四月一日より四年間。

● 同志社香里高校における国際コース新設について

同志社香里高校において二〇〇〇年度より新設される国際コース（二クラス・各四十数人・共学）は、同志社教育の柱のひとつである国際主義教育の理念に基づいて設置され、語学教育を中心とした特色あるカリキュラムを加えることによって専門的な知識を習得し、新島襄が願ってやまなかったという国際分野で活躍できる人材、心豊かな国際人の育成を目指します。

本コースは広い視野に立ち、国際社会に生きるために必要な国際理解と国際協調の精神を養い、他国の言語や文化だけでなく、自国の言語（日本文化特論）、文化に対する関心をも高め、日常の学習を通じ、主体的に考える姿勢と創造性に富んだ個性の伸長を図るコースです。

ネイティブスピーカーによる実践的な語学やマルチメディアによる世界との交流（情報英語）、少人数クラスや細分化された英語授業の展開により、コミュニケーション能力を熟達させる教育を目指します。各種検定やTOEFL、TOEICなどの資格取得にも十分対応できるように配慮し、英語圏以外の世界を見越した初歩的な第二外国語の講座（フランス語・スペイン語・中国語・ハンガールから一科目を必修選択、定員三十人）も設けています。また、言語の背景にある文化を理解するための科目（比較文化特論・国際関係論）も充実し、「真の国際人としての教養」を多角的に捕らえていきます。